

伊藤金次郎 いとう きんじろう 評論家。明治二十五年八月一日愛知縣生れ、昭和二十九年七月二十一日没（六九二—一九六四）。筆名二鷹雀ハ。『扶桑新聞』、『報知新聞』を經て東京日日新聞社入社。のち『臺灣新報』副社長兼主筆、『東海毎日新聞』主筆兼編輯局長を務めた。

著書ハ『人物のこが國』（内題「人物のこが國」）昭和十二年六月（二十日改造社）、『世紀の決戦』（昭和十六年十一月—二十日昭和書房）、『新銀土開拓と後藤新平』（昭和十七年十一月十日昭和書房）、『山本元帥言行録』（昭和十八年九月—二十日春陽堂書店）、『名將・鈴木貫太郎』（昭和十九年八月十八日春陽堂）、『のどぼとけ念仏』毎日新聞発展外史』（昭和二十六年七月十五日伊藤金次郎若原周激勵古稀記念出版刊行会、鏡浦書房発売）、『明治の評価と明治人の感蝕』（合著・動向社編集部編、昭和四十一年五月十五日動向社）等。

